

**日本人間工学会 感性情報処理・官能評価部会**  
**平成 22 年度第 1 回学術講演会のお知らせ**

日本人間工学会感性情報処理・官能評価部会では、認知科学、情報科学、生理人類学、環境人間工学などの新たな知見から、人間の“環境”を問い直すことをテーマとした学術講演会を開催いたします。どなたでも自由に参加できますので、お誘い合わせの上、直接会場までお越しください。

■主催：日本人間工学会感性情報処理・官能評価部会

■日時：平成 22 年 9 月 25 日（土） 14：00～17:00

■場所：文化女子大学 新都心キャンパス A 館 152 号室

〒151-8523 渋谷区代々木 3-22-1

JR 新宿駅南口より甲州街道に沿って初台方面へ徒歩 7 分

<http://bwu.bunka.ac.jp/access/access.html>

[http://bwu.bunka.ac.jp/outline/map\\_s.html](http://bwu.bunka.ac.jp/outline/map_s.html)

■参加費：無料

■スケジュール：

14：00～15：15

「雰囲気伝える空間型ARシステム」

茅原 拓朗（宮城大学 事業構想学部）

文部科学省平成 21 年度「デジタル・ミュージアムの展開に向けた実証実験システムの研究開発」事業による受託研究「雰囲気伝える空間型ARシステム」において、雰囲気を表現するための背景音やガヤ音を生成するための効果的な手法を開発し、それらを実際の展示に雰囲気映像（群集表現）とともに付与して、「賑わい感」などのミュージアム展示に関わる感性評価を行ったので報告する。また、8 月から(株)デンソーおよび(株)タイププロジェクトとの共同で始まる、車載用に特化した機能的フォントのデザインプロジェクトについてもその概要を紹介する。

15：15～15：45 休憩

15：45～17：00

「仮眠と音環境」

橋本 修佐（武蔵野大学 人間関係学部）

日中に眠気を感じて仮眠をしたいと考える人は多いが、多忙な日常生活において仮眠を効率良くとることは難しい。そこで、有効に仮眠を取るための音環境を工夫し、早く入眠を促進させる方法について検討した。ピンク雑音を 1/f2 ゆらぎ特性の音へ変調したものを聞かせると、周囲の音を普段気にする人の入眠潜時が有意に短縮することが示された。聴感印象は必ずしも良くなくても、入眠潜時短縮という生理的な効果がみられた。

■問合せ先：

日本人間工学会感性情報処理・官能評価部会

山下 利之（yamashita-toshiyuki@center.tmu.ac.jp）